

図書館 だより

2026年2月号

2026.1.31(土)発行



市立富良野図書館(0167-22-3005)
076-0032 富良野市若松町5番10号
火~金 10:00-18:00 土・日 9:00-17:00

白抜きの日はおやすみです
休館



2026年2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2026年3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

図書館のおはなし会

読み聞かせボランティアのみなさんによる絵本や紙芝居、あそび歌など♪
どなたでも参加できますので、ぜひあそびに来て下さいね。

どんぐりおはなし会 2月4日・18日・25日(各水曜日)
午後3時~3時30分/1階・読み聞かせ室

どようびのおはなし会 2月14日(毎月第2土曜日)
午前10時30分~11時/2階・多目的ホール

えいごのおはなし会 2月21日(毎月第3土曜日)
午前10時30分~11時/2階・多目的ホール

【協力】
読み聞かせボランティア「どんぐり」
読み聞かせボランティア「ノタン」
外国語指導助手・読み聞かせボランティアのみなさん



市立富良野図書館 2026絵本週間 特別企画

えほんよんで BINGO

- 1 ビンゴカードをもらう
- 2 えほんをよむorかき
- 3 えほんのだいめいをかく
- 4 1れつそろったらプレゼント!

ひとり1日1回・だれでも参加OK

2026 Sat. Sun.
3/28 ~ 4/5

市立富良野図書館(0167-22-3005) 火~金 10:00~18:00 土・日 9:00~17:00

絵本週間イベントやります

3月27日~4月9日は「絵本週間」! アンデルセンの誕生日であり「国際子どもの本の日」である4月2日を中心に設定されており、絵本読書の定着と、絵本文化の発展を目的に制定されています。図書館では絵本にちなんだ各種イベントを準備中です。どうぞおたのしみに♪

- どんな本かはおたのしみ♪「ひみつのえほんぶくろ」
- 絵本を読んでチャレンジ!「えほんよんでBINGO」

このほかにも、「帰ってきたミニ古本市」や絵本に登場する「アレ」をつくる工作会など、いろいろ! くわしくは、3月10日(火)発行の広報ふらの3月合併号や、館内配布のチラシでお知らせします。

市立富良野図書館 2026絵本週間 特別企画

ひみつの えほんぶくろ

2日間限定・せ〜ん心 新刊!
どんな絵本が入ってるかわからない♪

2026
3/28 Sat.
3/29 Sun.

※先着20冊
どなたでも
貸出OK!

市立富良野図書館(0167-22-3005) 火~金 10:00~18:00 土・日 9:00~17:00

2月の休館日

2/2(月) 2/9(月) 2/11(水) 2/16(月) 2/23(月) 2/24(火) 2/27(金)

貸出ランキング (2026.1.6~2026.1.30)

順位	資料名	著者名	出版者
1	失われた貌	櫻田 智也 // 著	新潮社
2	世界はきみが思うより	寺地 はるな // 著	PHP研究所
3	白鷺立つ	住田 祐 // 著	文藝春秋
4	しっぽのカルテ	村山 由佳 // 著	集英社
5	職分	今野 敏 // 著	双葉社
6	巖窟の王	友井 羊 // 著	光文社
7	変な地図	雨穴 // 著	双葉社
8	成瀬は都を駆け抜ける	宮島 未奈 // 著	新潮社
9	菜の花工房の書籍修復家	日野 祐希 // 著	宝島社
10	エレベーターのボタンを全部押さないでください	川内 有緒 // 著	ホーム社
11	神様の願い事	近江 侑平 // 著	幻冬舎メディアコンサルティング
12	温怪談	あみ // 著	徳間書店
13	クスノキの女神	東野 圭吾 // 著	実業之日本社
14	契り橋	高田 郁 // 著	角川春樹事務所
15	家族	葉真中 顕 // 著	文藝春秋
16	写真館とコロケ	山口 恵以子 // 著	文藝春秋
17	吾も老の花	阿川 佐和子 // 著	集英社インターナショナル
18	睡蓮	白石 一文 // 著	新潮社
19	虚像の道化師	東野 圭吾 // 著	文藝春秋
20	水脈	伊岡 瞬 // 著	徳間書店

2月12日(木)は料理本など実用書が入荷予定!

NEW 新着図書 棚にない本は予約ができます。



六つ首村(折原一/光文社)

フリーライター・笹村克哉のもとに義理の姉と名乗る女がやってきた。笹村は六つ首村の名家・白兼家の後継者候補で、30年前の「六つ首村連続殺人事件」を生き延びた張本人だというのが...



月白(宇佐美まこと/朝日新聞出版)

戦後の混乱期に男だけを執拗に殺め続けた子連れ的女殺人鬼・北川フサのルポを請け負ったライター・海老原は、取材を進めるうちにその残忍な行動に抗い難い魅力を感じ始める。



昨日の肉は今日の豆(皆川博子/河出書房新社)

現世と彼方融けあう、皆川博子の幻想作品集。豆化症に罹った夫と暮らす老女の明日は...。表題作をはじめ、短篇・俳句・詩27篇と、書き下ろし短篇を収録。



ジャガー・ワールド(恒川光太郎/講談社)

生贖制度が残り、王と神官が絶対権力を持っていたマヤ文明。父と母を殺され、姉を生贖にされ、自らも生贖として殺された少年・スレイは、ウエラス族のヘルマスに救われなんとか命をつなぎ...



猿(京極夏彦/KADOKAWA)

「猿がいる」と言い出した同居人。かすかに感じる、妙な気配。曾祖母の遺産相続。岡山県山中の限界集落。よく判らない違和感...。恐怖の本質に迫る長編小説。



池袋NO NAME(石田衣良/文藝春秋)

闇バイトに嵌められたGボーイズが逮捕され、タカシは復讐戦を宣言。トクリュウに潜入したマコトが、名前のない強盗団リーダーを追う...。表題作など全4編を収録。